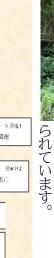
## akeru.jp WWW 鹿児島県霧島市隼人町

## 熊襲征伐の中心地は

## 鹿児島県が有力?

かあります。 皇子小碓尊が派遣されました。小碓尊はまだ十六歳 これを裏付けるように鹿児島県には伝承地がいくつ 鹿児島県霧島市辺りで起こったのかもしれません。 の戦いは景行天皇の熊襲征伐地だった大隅地方から した。小碓尊が征伐する熊襲の首領の名は川上梟帥 の若者です。都から弓の名人らを伴ってやってきま で別名は取石鹿文です。この名前が景行天皇が征伐 した首領の名と似ていることから、小碓尊と熊襲と 景行天皇の熊襲征伐から十二年後、今回は天皇の

肝付町 神を祀りました。日本武尊も とき天道山の頂に天照皇大御 る神社です。景行天皇が来た ここを訪れ滞在しました。天 伊勢神社 高台にあり、天照大神を祀 鹿児島県肝属郡



ト大平を願ったところと伝え



### 熊襲との戦

鹿児島県霧島市隼人町

品です。 も呼ばれています。洞窟内の絵は画家の作 が女装して熊襲を討った所で、嬢着の穴と ると案内板に書かれていました。日本武尊 伝わっています。第一洞窟は奥行き二二メー ます。ここにかつて熊襲が居住していたと ら二百メートル程山を登ったところにあり 道路沿いの駐車スペースにとめて、そこか トル、幅十メートルで百畳ほどの広さがあ 鹿児島の妙見温泉近くにある洞窟です。

ことが詳細に書かれていました。 穴の中の案内板には日本武尊との戦いの

を受け入れました。 てほしい。」と言いました。小碓尊はこれ い勇者だから私の名をとって日本武と名乗っ 皇子で小碓尊だ。お前を征伐に来た。」と と尋ねると、小碓尊は「われは景行天皇の 持っていた短剣で川上武の背中を刺しまし ました。この時とばかりに、小碓尊は懐に 装した小碓尊が紛れ込みました。酒に酔っ をつぎ、盛り上がっていました。そこに女 をしないため、小碓尊に熊襲征伐をさせる を開きました。この時、朝廷は熊襲が貢物 州南部の五五の部族の将たちが集まり酒宴 時石の寝台が完成し、それを祝うために九 答えました。川上武は「あなたは私より強 た。これに驚いた川上武は「お前は何者だ」 ばに呼び寄せ、二人っきりで酒を飲んでい ことにしました。祝の宴では女たちがお洒 穴は千畳もの広さがあったようです。ある る)の兄弟です。 二人が居住地としていた た川上武がこの美しい娘(小碓尊)を見てそ 熊襲である川上梟師は武と建(共にたけ

鹿児島県霧島市

さま川上建の胸を した。そこですぐ 武尊の前に現れま 上建が酔って日本

とうとしましたが た家来たちが女装 た。この騒ぎを見 刺し即死させまし した日本武尊を討

絶大な権力を持っていた川上武の願いに従 先に刺された川上武が制止し、虫の息で日 主要な内容を要約しながら書きました。) 言いました。家来たちは熊襲の首領として 本武尊の身分を伝え、手出ししないように 日本武尊を無傷のまま朝廷に帰しまし (この話はさらに続きますが、案内板の

ありました。このことは西征に出発する前 むのではなく、知恵を絞って攻める必要が する作戦は都にいるときに決まっていたの は衣裳を授けたのでしょう。熊襲建を征伐 か。だから、伊勢神宮に行ったとき倭姫命 多くはありませんでした。そのため、景行 かもしれません。 に天皇から聞いていたのではないでしょう 天皇の熊襲征伐と同様に正面から戦いを挑 小碓尊の西征は軍団と言ってもそんなに



鹿児島県霧島市牧園町

日本武尊祝宴之地碑

征伐した地と伝えて たのでしょうか。宴 承ではここが熊襲を ています。地元の伝 坂川に祝橋がかかっ こで酒宴を開いてい います。熊襲らはこ 霧島市を流れる石

> であったのかもしれません。 たと言われています。その祝宴をあげたのもここ 会にもぐりこんだ小碓尊は見事に熊襲建を征伐し



酒盛りをして、拍子をとっ 熊襲(川上梟師)が橋の上で 碑だけが立っています。 現在は川はなく道端に石 橋がかかっていました。 昔ここには拍子橋という 橋伝説の碑があります。

れが河神橋、庚申橋となったという説もあるよう です。(石碑前の案内板より) ります。橋の名は川上橋となったこともあり、そ 拍子川にかかる拍子橋と呼ばれるようになりまし 本武尊によって突き殺されたという言い伝えがあ 川上梟師はこの近くに住んでいて、そこで日 て踊っていたことから、

# えびの市の白鳥神社

向したとも伝わっています。また、平安時代、霧 畔で法華経を唱えていると突如日本武尊の化身と きました。熊襲の征伐の後、日本武尊の一行が下 す。白鳥山や霧島の山々は古来より神山とされて この神社には日本武尊と弟橘媛命が祀られていま 島山に来ていた性空上人が霧島山の六観音御池の えびの市にある白鳥山の中腹に鎮座しています。



建てたのが白鳥権現社で

いと告げました。そこで を現した」と語ると、こ たが、読経に感応して姿 この山に棲んで随分経っ 本武尊で、白鳥となって こに神社を創建するがよ

九州の強者集団 記紀では熊襲(熊曽)とは特定の人物名で

霧島市国分中央に拍子 生まれたのではないでしょうか。 於郡一帯を支配していた勢力とされていま 襲は熊本県南部から鹿児島県北部の球磨郡 協力し合っていたため、熊襲という総称が す。この二つの勢力は争うことなく互いに と鹿児島県中部から大隅半島にかけての曽 人々」の集団名としています。一般的に熊 南九州を拠点とする「まつろわぬ

うと言うことでしょう。そこで、景行天皇 ます。正面から戦いを挑んでも負けてしま ました。しかし、この熊襲は簡単には征伐 いことが書かれており、そのため天皇自ら 年七月に熊襲が大和朝廷にそむいて貢がな が景行天皇の征西の時です。景行天皇十二 は一計を案じます。 なってしまうと嘆く景行天皇の言葉もあり ています。大軍を送り込むと農民はいなく できないほどの強者ぞろいだったと書かれ が九州に遠征し賊らを征伐することになり 『日本書紀』に初めて登場するの

も受け継がれたようです。 利だったということです。これは小碓尊に という娘がおり、この二人を騙して味方に は厚鹿文と 鹿文です。 市乾鹿文と市鹿文としていた熊襲です。 熊襲の八十梟帥で名 し、征伐したのです。力ではなく知恵の勝 景行天皇が征伐したのは大隅地方を拠点

いう老翁が現れ「我は日

大隅地方のどこかで起こったのかもしれま 小碓尊と熊襲との戦いは鹿児島県中部から 碓尊が征伐する熊襲は川上梟帥で別名は取 小碓尊が派遣されることになりました。小 その後再び熊襲が背いたので天皇の皇子

尊の子の足 仲彦尊 (仲哀天皇)が九 完全には熊襲を抑えられておらず てしまいました。 日本武尊が亡くなった後、日本武 矢に当たり筑紫の香椎宮で亡くなっ 州に遠征しましたが、熊襲が射た しかし、実は小碓尊の西征でも

でした。(『天皇紀』より) が征新羅の前に軍を派遣して熊襲 が反乱を起こすことはありません を征伐しました。これ以降は熊襲 その後、仲哀天皇妃の神功皇后

おおすみ弥五郎伝説の里

われていますが、熊襲がモデルと ルの銅像があります。高台に立っ ていますので近くの国道を走って 五郎は隼人の首領がモデルともい いると山の上に見えてきます。弥 五郎どん」という高さ十五メート いう説もあるそうです。 首領は 鹿児島県曽於市大隅町には 鹿児島県曽於市大隅町

「ドン」なので名前に「どん」が ついてい

るのかと す。 や、 も思いき という意 きました。 味なので 弥五郎殿 言葉と間 が訛った ん」は殿 ترلخ